



## 脳・脊髄・神経疾患に対する手術の短期・長期的予後の後方視的研究

2000年1月から2023年6月までに脳・脊髄・神経疾患のために治療を受けた患者さん

### 研究協力のお願い

当科では「脳・脊髄・神経疾患に対する手術の短期・長期的予後の後方視的研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2000年1月1日より2023年6月30日までに日本医科大学付属病院脳神経外科にて、脳・脊髄・神経疾患のために治療を受けられた患者さんを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：脳・脊髄・神経疾患に対する手術の短期・長期的予後の後方視的研究

研究期間：研究実施許日～2033年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 脳神経外科 大学院教授 村井 保夫

### (2) 研究の意義、目的について

脳神経疾患に対する手術加療は日々進歩しており、その治療法における長期予後に関する検討がなされているものは多くありません。どのような患者が予後良好、または予後不良であるかということに関しては解明されていないことが多く、本研究では日本医科大学付属病院脳神経外科にて手術加療を受けられた患者の手術前後の経過、検査データ（採血、画像、生理機能検査 等）を解析し手術加療に対する予後予測因子を解明することを目的とします。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2000年1月1日より2023年6月30日までに日本医科大学付属病院脳神経外科にて、脳・脊髄・神経疾患のために治療を受けられた患者さんの手術前後の臨床経過、検査結果（採血、画像、生理機能検査など）や手術動画を集積し解析を行い手術後の予後予測因子を解明していきます。本研究を遂行するにあたり追加の検査や、改めて研究のためにご来院いただく必要はございません。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：血液、手術時に切除した組織、等

情報：年齢、性別、血圧値、血液検査データ、画像検査データ、生理機能検査データ、手術動画 等

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 脳神経外科 助教・医員 樋口 直司

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6663

メールアドレス：higu2525@nms.ac.jp